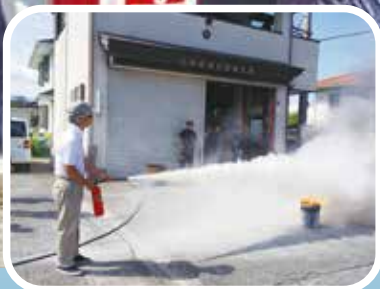


笛吹市 議会だより

令和5年10月24日発行

2023

Vol.76



- | | |
|--------------|-----------------|
| 会期日程・議会日誌 ② | 質疑および代表質問 ⑥ |
| 提出案件一覧表 ③ | 質疑および一般質問 ⑬ |
| 決算に対する監査意見 ④ | 委員会レポート ⑱ |
| 令和4年度決算状況 ⑤ | 市民リレートーク/編集後記 ⑳ |

9月議会・会期日程

- 8月28日（月）
 - ・ 議会運営委員会、全員協議会
- 9月4日（月）
 - 開会
 - 本会議
 - ・ 会議録署名議員の指名
 - ・ 会期の決定
 - ・ 市長行政報告
 - ・ 提出議案の説明
 - ・ 決算審査報告
 - ・ 質疑・討論・採決
- 9月12日（火）
 - 本会議 質疑および代表質問
- 9月13日（水）
 - 本会議 質疑および一般質問
 - ・ 委員会付託
- 9月15日（金）・19日（火）
 - 各常任委員会（付託事件審査）
- 9月20日（水）～22日（金）
 - ・ 各常任委員会（付託事件審査（決算認定））
- 9月28日（木）
 - 議会運営委員会、全員協議会
 - 本会議
 - ・ 委員会審査報告
 - ・ 追加議案の説明
 - ・ 質疑・討論・採決
- 閉会

議会日誌 GIKAI diary

6月 June

- 2日 議会運営委員会、議会全員協議会、議会広報編集委員会
- 5日 会派別意見交換会
- 8日 笛吹高校訪問、国際交流委員会、甲府市議会正副議長就任挨拶
- 9日 笛吹市果実盗難防止対策連絡会議
西関東連絡道路整備促進期成同盟会監査
質疑・質問通告期限、通告確認会議（通告確認および許可）
- 10日 稲山ほたる銀河の会 ほたる祭り
- 13日 第2回定例会本会議（開会）、議会改革委員会
笛吹市経済懇話会第18回定期総会・講演会および懇親会
- 14日 全国市議会議長会第99回定期総会
- 20日 第2回定例会本会議（一般質問・付託）
令和5年度石和温泉観光協会通常総会・懇親会
- 22～23日 議会常任委員会
- 23日 笛吹市シルバー人材センター令和5年度定時総会
- 28日 議会運営委員会、全員協議会、第2回定例会本会議（最終日）
議会広報編集委員会
- 29～30日 JAふえふき桃フェア

7月 July

- 5日 笛吹市「社会を明るくする運動」推進大会
- 6日 行政視察受入（愛媛県西予市議会）、第3回全国桃サミット in やまなし
- 10日 山梨市議会正副議長就任あいさつ、笛吹市スポーツ協会総会
- 12日 笛吹高校ワークショップ
- 13日 JAフルーツ山梨桃品評会
- 14日 笛吹市商工会意見交換会
- 19日 リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会
- 20日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会議会運営委員会
山梨県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
山梨県後期高齢者医療広域連合議会臨時会

- 20日 笛吹川石和鶉飼開き
- 21日 森林整備協定締結式
- 24日 笛吹市社会福祉協議会事務局長就任挨拶
行政視察受入（大分県豊後大野市議会）
- 25日 山梨県防犯協会笛吹支部総会
- 27日 沢川改修期成同盟会総会、議会広報編集委員会
- 31日 議会改革委員会

8月 August

- 4日 山梨県市議会議長会議員合同研修（前期）
- 5日 峡東地域世界農業遺産フェスティバル
- 6日 第54回石和温泉柔道大会
- 8日 西関東連絡道路整備促進期成同盟会総会
- 10日 第18回笛吹市桃の里マラソン大会 第2回実行委員会
- 16日 いちのみや大文字焼き開会セレモニー
- 17日 山梨県高速整備促進期成同盟会・総会
- 18日 国中消防指令業務等共同運用検討会検討結果報告
議会改革委員会、多目的芝生グラウンド整備基本計画説明会
- 21日 笛吹市シルバー人材センター要望活動
- 25日 JAふえふきブドウフェア
- 28日 議会運営委員会、議会全員協議会
東八広域行政事務組合議会事務局説明
- 29日 会派別意見交換会
- 30日 新山梨環状道路整備促進期成同盟会総会
東八広域行政事務組合議会全員協議会
東八広域行政事務組合議会定例会
- 31日 質疑・質問通告期限、通告確認会議（通告確認および許可）

令和5年第3回(9月)定例会提出案件一覧表

○賛成 ●反対
 ◎賛成討論 Ⓢ反対討論
 (古屋始芳議長を除く)

種別	案件名	笛新会					清心会			笛政クラブ	誠和会		公明党	日本共産党	無党派	結果				
		海野利比古	保坂利定	神宮司正人	荻野謙一	神澤敏美	武川則幸	落合俊美	山田宏司	河野正博	岡由子	古屋始芳	小林始	中村正彦	渡辺清美		中川秀哉	渡辺正秀	河野智子	野澤今朝幸
報告	・令和4年度笛吹市財政健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告 ・学校給食費に係る訴訟の提起における専決処分の報告																			
専決	・令和5年度笛吹市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	承認	
条例	・職員給与条例の一部改正 ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ・社会体育施設条例の一部改正 ・社会教育施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	・博物館条例及び笛吹市青楓美術館条例の一部改正 ・火災予防条例の一部改正	○	○	○	○	●	○	○	○	○		○	○	○	○	時	●	●		
令和5年度補正予算	・一般会計補正予算(第6号) ・国民健康保険特別会計補正予算(第2号) ・介護保険特別会計補正予算(第2号) ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ・農業集落排水特別会計補正予算(第1号) ・境川観光交流センター特別会計補正予算(第1号) ・森林経営管理特別会計補正予算(第1号) ・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号) ・大禰山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号) ・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号) ・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号) ・大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号) ・崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号) ・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号) ・春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号) ・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号) ・水道事業会計補正予算(第2号) ・公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決	
	・一般会計歳入歳出決算認定 ・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	時	○	○	○	○	●	時	○		
	・介護保険特別会計歳入歳出決算認定 ・介護サービス特別会計歳入歳出決算認定 ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 ・農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定 ・境川観光交流センター特別会計歳入歳出決算認定 ・森林経営管理特別会計歳入歳出決算認定 ・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定 ・大禰山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定 ・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定 ・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定 ・大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定 ・崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定 ・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定 ・春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定 ・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定 ・水道事業会計決算認定 ・市営春日居地区温泉給湯事業会計決算認定 ・公共下水道事業会計決算認定 ・簡易水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	認定	
	その他	・普通財産の譲与 ・動産の取得(資機材搬送車購入(明許)) ・動産の取得(ひとり一台パソコン用シンクライアント端末購入) ・動産の取得(指定避難所防災物品購入) ・市道廃止 ・市道認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
		・人権擁護委員の候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
		・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	同意
		・インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	●	○	○	○	採択
	発議	・議会会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
		・インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●	●	○	○	○	可決
	変更	・常任委員の所属変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	決定
	選任	・議会運営委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	選任
	選挙	・東八代広域行政事務組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	選挙
		・釈迦堂遺跡博物館組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	選挙

用語解説
 ※1 専決処分とは…議会の議決が必要な事項を、市長が議会で諮らず自分で決めること。緊急で議会を招集する時間がない時など限られた場合のみ認められる。
 ※2 請願とは…住民が市政等について直接市議会に要望できる制度。(必ず議員の紹介が必要)
 ※3 意見書とは…議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係府政に提出することができる。住民代表である議会の総意として尊重される。

令和4年度決算に対する監査意見

代表監査委員 曾根哲哉

※意見の要約・一部抜粋です

令和4年度の一般会計・特別会計決算および水道事業会計、温泉給湯事業会計、公共下水道事業会計、簡易水道事業会計等について、審査に付された決算書および提出された審査資料に基づき審査を執行した結果、それぞれ関係法令に準拠して作成されており、決算計数はいずれも関係帳簿、証ひょう書類と符合し、かつ正確であると認められた。また、決算の内容、予算執行についても適正妥当であると認められた。

(一般会計)

令和4年度の決算状況のうち、実質収支額は黒字決算、歳入は前年度より増加しているが、新型コロナウイルス感染症関係の国庫支出金が大幅に減少している。歳出も増加している。

歳入増加のために、移住・定住事業や優良企業の誘致等、生産年齢人口の増加対策等の充実が求められる。一方、歳出は社会保障費の増大や、ウクライナ情勢の影響による物価高騰、公共施設の適切な維持更新など、新たな行政課題への対応で財政負担が見込まれるため、的確な予算編成と効率的な予算執行を通じ、健全な財政運営に努めるよう望む。

●危機管理体制の確立

防災意識を高め、日常の避難情報の理

解や行動計画など充実・強化を望む。

災害廃棄物処理計画に基づく対応や個別避難計画の策定も含め、対応や研究を進めるよう望む。

消防本部においては、災害時の人員配備及び装備を十分発揮できる体制の整備、近隣消防本部との連携及び比較・検証など、整備強化に努めるよう望む。

●情報環境関連事業

AIの進化やDX、ICT活用の動きは加速している。迅速で確実に提供できる活用方法の研究・検討を望む。

●観光・産業・まちづくり関連事業

多面的な視点での施策展開が必要。市の主要産業である観光の振興や、農業の維持拡大を一層図られるよう望む。

利便性が高く、住みやすいインフラ整備等まちづくり事業を通じて、市民誰もが住んで良かった、住みたくなる市となるよう施策を進めていただくよう望む。

●子育て、教育関連事業

保育や学校現場で、さまざまな課題、問題を把握し、子どもたちがこころ豊かに暮らせる環境づくりに、一層努められるよう望む。

(国民健康保険特別会計)

滞納世帯に対し、明確な基準を設け適正に対応し、収入未済額が縮減されるよう、徴収の強化を望む。

(介護保険特別会計)

保険事業の安定継続のため、収納率向上と不納欠損額の縮減に努められたい。

(介護サービス特別会計)

事業成果の検証を十分にし、予防プランの評価、見直しの指導をお願いする。

(後期高齢者医療特別会計)

今後、医療費の抑制に繋がるよう、健康づくり事業等への積極的な取り組みをお願いする。

(農業集落排水特別会計)

収入未済額は公平性の面から、収納対策を講じられるようお願いする。

(境川観光交流センター特別会計)

利用者の定着と共に、利用者の獲得を目指し、利用状況の検証と、運営方法の見直しをお願いする。

(森林経営管理特別会計)

事業を円滑に進め、災害防止や地球温暖化防止などのため、森林の公益的機能の適正な管理を望む。

(財産区管理会特別会計)

構成員の高齢化が進み管理が難しい状況だが、貴重な資源の保護・災害対処も重要なため、引き続き管理体制の充実にご努力をいただきたい。

(財産に関する調査)

基金運用の安全性確保のため、金融機関の経営状況等の信用格付情報を入力し、慎重な運用と財産増加、効率的な運用を

図るよう望む。

(基金運用状況に関する調査)

土地開発基金の運用状況は、規程に基づき適正な管理が行われていた。今後運用について、配慮を望む。

(水道事業会計)

将来的な人口減少社会を見据え、持続可能な安定経営に向け、さらに経営努力をされるよう望む。

(温泉給湯事業会計)

施設の維持管理に向けた事業費用の増加も予想される。合理的効率的な事業経営をされるよう望む。

(下水道事業会計)

企業債残高は年々減少傾向にあるが、110億円で、決算額の大きな割合を占めている。一般会計からの基準外繰入金が必要としている。業務の改善、合理化等で経費の削減に努め、持続可能な事業経営を望む。

(簡易水道事業会計)

供給単価の適正化、上水道料金との公平性についても研究を行い、効率的な事業経営の遂行を望む。

(財政健全化比率等)

今後も健全な財政基盤の確立のため、歳入と歳出のバランスを図りながら、長期的な視野に立った財政運営が推進されるよう望む。

令和4年度一般会計決算

歳入総額 435億5,720万円

歳出総額 405億5,698万円

浅川中学校校舎等改修事業
13億1,472万円



新型コロナウイルス感染症予防接種事業
5億6796万円



ふるさと納税事業
17億1,010万円



砂原橋架替事業
4,407万円



防災備蓄倉庫整備事業
4,212万円



**令和4年度決算
おもな使いみち**

ハートフルタウン笛吹商品券事業(第2弾)
7億2,542万円



史跡甲斐国分寺跡整備事業
2,579万円



新道峠展望台環境整備事業
5,368万円



特別会計・事業会計決算状況

会計名		歳入(収入)	歳出(支出)
国民健康保険特別会計		84億5,102万円	78億821万円
介護保険特別会計		71億5,260万円	65億6,984万円
介護サービス特別会計		1,274万円	1,274万円
後期高齢者医療特別会計		17億2,454万円	17億817万円
農業集落排水特別会計		8,033万円	4,625万円
笛吹市境川観光交流センター特別会計		7,561万円	5,991万円
森林経営管理特別会計		2,666万円	677万円
恩賜県有財産保護財産区管理会(9特別会計)		6,859万円	297万円
水道事業会計	収益的収入及び支出	17億8,833万円	17億5,171万円
	資本的収入及び支出	3億3,748万円	8億8,962万円
春日居地区温泉給湯事業会計	収益的収入及び支出	9,033万円	8,181万円
	資本的収入及び支出	0円	0円
公共下水道事業会計	収益的収入及び支出	19億2,834万円	17億6,530万円
	資本的収入及び支出	10億1,727万円	16億7,348万円
簡易水道事業会計	収益的収入及び支出	2,558万円	2,170万円
	資本的収入及び支出	95万円	190万円

※収益的及び資本的収入が支出に不足する額は補てん財源で措置

9月 定例議会

市民の声

質疑および代表質問

9月定例議会では、6会派を代表して6人の議員が代表質問に立ちました。以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

- 笛新会 神澤 敏美議員 …6
- 清心会 山田 宏司議員 …8
- 笛政クラブ 岡 由子議員 …10
- 誠和会 小林 始議員 …11
- 公明党 渡辺 清美議員 …13
- 日本共産党 河野 智子議員 …14



神澤敏美
議員

笛新会

問 令和4年度決算は

神澤敏美議員 ① 財政の健全化は。

- ② 市税、国保税、企業会計の滞納額および不納欠損額は。滞納対策は。
- ③ ふるさと納税の寄附額は。おもな事業と充当額は。
- ④ 令和4年度末の市債残高および基金現在高と増減要因は。
- ⑤ 市民1人当たりの借入金

答 市の財政はさらに健全化が進んでいる

山下政樹市長 ① 令和4年

度決算における「実質公債費比率」は7・5%で、前年度から0・7ポイント減少した。

「将来負担比率」は将来負担すべき額を上回ったこ

代表質問

とから、算出されなかった。前年度と比べいずれの比率も減少しており、市の財政はさらに健全化が進んでいる。

② 滞納額は市税が3億7、762万円、国保税が2億2、743万円、企業会計が9、620万円。不納欠損額は市税が9、821万円、国保税が2、445万円、企業会計が455万円。督促状や催告書による納付の促しのほか、スマートフォンアプリによる収納やコンビニ収納など納付しやすい環境を整備。滞納になった場合は財産調査を行った上で、個々の実情に応じた対応を行っている。

③ 令和4年度のふるさと納税寄附額は31億6、301万円。まちづくり基金から29億342万円を繰り入れた。そのうち、9億229万円を本年度実施した消費喚起キャンペーン事業の繰越財源とし、20億113万円を24事業に充当した。

おもな事業は返礼品購入や宣伝に17億1、010万円、小中学校で使うタブレット端末等の機器の更新や学習ソフトの導入に1億

645万円、浅川中学校校舎等改修に4、720万円、石橋産業導入地区のインフラ整備に4、405万円。

④ 市債残高は前年度より、15億5、114万円減少し、383億9、679万円となった。減少したおもな要因は、合併特例債や臨時財政対策債の地方債元利償還金のうち、元金償還額が借入額を上回ったことによる。基金現在高は、2億467万円減少し、196億5、956万円となった。減少したおもな要因は、浅川中学校改修などで、起債対象外となる費用に充当した公共施設整備等基金が4億1、929万円減少したこと。

⑤ 令和4年度の全会計の市債残高は567億8、812万円。市民1人当たりの借入額は84万1、754円。

問 新型コロナウイルス感染症は

神澤議員 ① 5類移行後の

- ② 小中学生の心と体のケア
- ③ コロナ感染症の診療費は。

答 感染拡大防止のための普及啓発を継続

④ ワクチン接種の自己負担は。

⑤ 基金を活用した市独自の補助体制は。

山下市長

① 5類移行後も

県内の感染者は増加傾向にある。山梨県感染症対策センターは、8月24日に「感染拡大注意報」と「医療逼迫注意報」を発令し、県民に注意喚起を行っている。市は、市ホームページやSNSを活用して、感染拡大防止のために普及啓発を継続していく。

② 市内小中学校には、新型コロナウイルス感染症を機に不登校になり、現在に至る児童生徒が若干名存在するが、家庭訪問や電話などで、本人や保護者とのつながりを大切にしながら学業や生活習慣の悩みに応じている。今後もふえふき教育相談室、教育支援センター「ステラ」、スクールカウンセラーなどと連携し、きめ細かな対応に努める。

③ 9月末までは公費負担。10月以降については、現在、国が検討している。来々年4

月からコロナ対応を組み込んだ新たな診療報酬体系の改定に向けた検討も進められている。

④令和6年度のワクチン接種については、今後示される国の方針に沿って適切に対応する。

⑤国の方針を確認し、必要な対応を検討する。

問 ペイペイポイント還元による消費喚起は

神澤議員 ①当初予算額の不足と専決処分の理由は、②事業参加店舗数と売上金額は、③道路渋滞への対応は。

答 参加店舗全体の売上金額は約37億円

山下乡長 ①令和3年度に行った前回の実施状況などを基にポイント還元額を試算したが、試算以上に多くの利用があり、予算額が不足した。ペイペイ株式会社からの7月31日の速報値により7月27日以降の予算の不足が判明したが、不足額は見込めず、8月6日の速報値でおおよその額が確認でき、7月26日付けで専決処分した。

②前回より239店舗増加し、1,045店舗が参加した。売り上げは前回より約18億円増加し約37億円。

③前回、交通渋滞が生じたことを踏まえ、各事業者に対して交通渋滞への対応を依頼したが、一部店舗で渋滞が発生した。今後の課題として検証する。

問 マイナンバーカードと健康保険証の一体化は

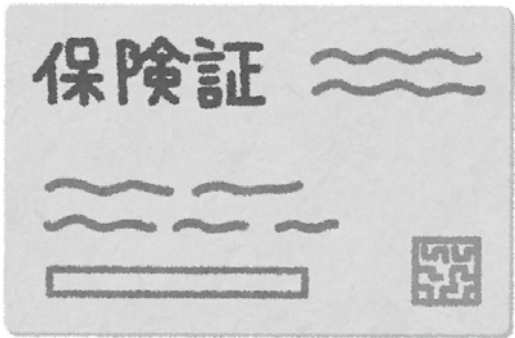
神澤議員 ①国における総点検の工程は、②マイナンバーカードの返納と理由は、③健康保険証との一体化に

伴う駆け込み申請増加への対応は。

答 余裕ある申請を促していく

山下乡長 ①国は、6月、デジタル庁に総点検本部を設置。現状の紐付け方法を確認するため、7月に全国の自治体等に実態調査。回答を確認し、個別データの点検が必要と判断した場合は、自治体等に点検作業を依頼している。本市は点検対象外だった。

点検対象の自治体等は、11月末を目途に、デジタル庁が示したマニュアルによ



代表質問

って個別データの点検を実施している。

②返納は6月に2人、7月に5人、8月に1人。報道などでマイナンバーカードに不快感や不安を感じたことが理由。

③要請があれば公民館や高齢者施設などへの訪問受付も可能。身近な場所で申請ができることを周知するとともに、余裕のある申請を促す。

問 鵜飼の文化財指定は

神澤議員 ①笛吹川石和鵜飼の後世への伝承は、②地域の伝統文化に愛着を持つ子どもたちの育成は。

答 文化財に指定されるよう取り組んでいく

山下乡長 ①関係団体から指定申請があった場合、市文化財保護審議会に指定の是非を諮問。千年を超える歴史と、全国でも珍しい鵜匠が川の中を歩きながら行う徒歩鵜であることを考慮し、市文化財保護審議会が文化財指定を判断して、市教育委員会に是非を答申する。歴史ある石和鵜飼が文

化財に指定されるよう取り組んでいく。

②市は学校と連携し、地域に伝わる民俗芸能や伝統行事について学ぶ出前授業を行っている。今後も地域に愛着を持てる子供たちの育成に努める。

問 浅川中学校の改修は

神澤議員 これからの時代を担う教育の場として、浅川中学校改修工事が完了した。総事業費と施設の特徴は。生徒数の推移予測は。

答 生徒が快適に学べる環境を整備

山下乡長 令和2年度から4年度まで、地質調査、測量業務、設計業務、仮設校舎リース、各種工事などを実施し、総事業費は約20億3,300万円。学年のまとまりをつくるため、フロアごとに同一学年の教室、多目的教室、更衣室などを一体的に配置。教室はできる限り木質化し、温かみのある空間になり、トイレは乾式化により衛生的になった。南館と北館の渡り廊下を3階建てにし、エレベ

ターも設置して、バリアフリー化も進めた。体育館には多機能トイレ等を設置し、指定避難所としての機能も強化した。

令和5年度の生徒数は306人。学区内の小学生が全員浅川中学校に入学する前提で試算すると、令和10年度は306人と推計される。

問 人口ビジョンは

神澤議員 ①本市の年少人口、生産年齢人口、老年人口は。

- ②第1次産業、第2次産業、第3次産業の就業者数は。
- ③今後の人口減少対策は。

答 人口減少に歯止めを様々な施策を

山下市長 ①令和2年度の国勢調査によると、本市の年少人口は、7,915人、生産年齢人口は37,628人、老年人口は19,870人。

②第1次産業が5,536人、第2次産業が7,318人、第3次産業の就業者数は21,419人。

③様々な施策を総動員する

中、子育て世代に焦点を当て、教育、移住・定住、相談・交流、仕事、防災・防犯の5つの分野における取組に力を注いでいる。今後、新たな施策にも積極果敢に取り組み、他市との差別化を図る。

問 道路網の整備は

神澤議員 ①市道1・5号線、1・8号線の道路計画は。

- ②市道1・5号線沿いの小松川を道路敷地として活用することは。
- ③春日居町平等川左岸の転落防止柵の設置は。
- ④西関東道路の法面の除草は。
- ⑤砂原橋の総事業費は。周辺をスポーツ振興ゾーンとする地域振興策は。

答 整備は早期完成を目指す

山下市長 ①基本設計業務委託費を当初予算に計上し、5月末に契約した。現在、地権者を戸別訪問して協力をお願いしている。

②暗渠化を想定し、豪雨に対する流下能力などを検討する。

する。

③当該箇所は、令和2年度の自動車事故で破損し、仮復旧している。原因者による復旧が原則だが、安全性を考慮し、市が工事を行い費用は原因者に請求する。

④管理者の山梨県に対し、早急な対応を依頼する。

⑤総事業費は37億8,800万円。特定の地域をスポーツ振興のためのエリアとすることはせず、市全体を一つの総合運動公園と見立て、既存の社会体育施設を競技特性に応じた専門性の高い施設として整備することを基本的な考えとしている。

問 平等川改修の事業継続は

神澤議員 ①令和6年度以降の継続事業化は。

- ②河川の対策は。

答 河川管理者の県が事業継続予定

山下市長 ①県からは徳条大橋から下岩下地下下橋の区間についても継続して河川改修を行うと伺っている。

②浸水、転落の危険性のある箇所の確認が必要。国・

県と連携し、整備促進に取り組む。

問 農産物の盗難被害は

神澤議員 ①今年度の被害件数と被害金額は。

- ②地域住民が見回りに協力する場合の手続きは。

答 被害総額は142万円相当

山下市長 ①8月末時点で、桃が7件104万6千円、ぶどう7件37万7千円相当。

②特定の手続きはないが、見回りと分かる配慮が求められる。



清心会



山田宏司
議員

問 令和4年度決算は

山田宏司議員 ①重点事業の成果と検証は。

- ②決算額が400億円を超える要因と分析は。
- ③財政健全化判断比率が良好となった要因と今後の展望は。
- ④将来負担比率が良好な数値を示した要因は。

答 今後も健全な財政運営に努める

山下市長 ①ふるさと納税事業は広告展開の注力などにより、納税寄附額が前年度に比べ6億8,409万円増加し、31億6,301万円となった。浅川中学校校舎等改修事業では、安全・安心な教育環境を整備できた。さらに私立保育所等施設整備事業では、2園

に9、677万円を補助し、園舎改築などにより、快適な保育環境を整備できた。このほか29事業については、年度内に完了し目的を達成できた。

②おもな要因は新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策関連経費事業に約30億円を支出したこと、借換債の増額により、公債費が前年度より3億4、765万円増加し、12億450万円となったこと、浅川中学校校舎等改修事業で、前年度に比べ8億1、937万円増加し、13億1、472万円になったことなど。

③④実質赤字比率、連結実質赤字比率については、全会計が黒字となるよう当初予算や補正予算を編成する際、厳格な査定を行い、さらに、適正な予算執行に努めた結果だと考える。実質公債費比率については、決算年度を含む3年間の比率の平均値で算出されるが、令和3年度の実質公債費比率の算定に含まれる令和元年度単年度比率が、令和4年度単年度比率と比較して高かったことにより、前年度より0・7ポイント減少

し、7・5%となった。将来負担比率は、充当可能財源額の基金及び基準財政需要額算入見込額が減少したものの、将来負担額である一般会計や企業会計の地方債の償還が進み、地方債残高が減少したことから、充当可能財源が将来負担額を上回ったため、数値は算出されなかった。今後も、健全化判断比率を注視し、財政運営に努めていく。

山田議員 市が計画している多目的芝生グラウンドには賛否両論がある。市のスポーツ振興施策、経済効果などについての丁寧な説明と真摯な対応が望まれる。

問 多目的芝生グラウンドは

山田議員 基本計画策定に当たり、どのような施設が望ましいか、最初の段階から市民の意見を伺った。素案段階で行った3回の意見交換会や同時期に行ったパブリックコメント、8月24日・25日、いちのみや桃の里ふれあい文化館で開催し

答 地権者の皆様などに理解を得ながら進める

た「笛吹市多目的芝生グラウンド整備基本計画説明会」において様々な意見をいただいた。今後は地権者や地元の皆様と丁寧な説明し、理解が得られるよう進めたい。

山田議員 温暖化による気候変動の影響で、線状降水帯の発生が頻発し甚大な被害をもたらしている。風水害への対策は急務と考える。芦川地域への避難バスの派遣は、峠道を越え、芦川沿いに支所へ向かうため、増水や崩落などで二次災害の恐れがある。日中は高齢者が多い地域では支所までの移動が困難。地域内の安全な場所を選定し、避難場所を設けることを検討する考えは。

問 災害時の避難は

山田議員 今年も果実の盗難が報じられている。市が開発している防犯システム

問 土砂災害が想定される際は早期避難が基本

山田議員 芦川町は住宅が立地している地域のほとんどが土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域に指定されている。増水や崩落などによる二次災害のおそれ

問 防犯システムの精度向上を図っている

山田議員 民間企業、大学と共同して開発を進めている防犯システムは、音や赤外線センサーを利用して異常を検知し、人工知能が盗難の可能性があると判断すると通報するもので、現在、システムの中枢であるセンサーと人工知能の精度向上を図っている。今後は機器やバッテリーの耐久性の確認や、センサーと連携するアプリの開発に取り組む。

問 果実の盗難対策は

山田議員 今年も果実の盗難が報じられている。市が開発している防犯システム

問 果実の盗難対策は

山田議員 今年も果実の盗難が報じられている。市が開発している防犯システム

問 防犯システムの精度向上を図っている

山田議員 民間企業、大学と共同して開発を進めている防犯システムは、音や赤外線センサーを利用して異常を検知し、人工知能が盗難の可能性があると判断すると通報するもので、現在、システムの中枢であるセンサーと人工知能の精度向上を図っている。今後は機器やバッテリーの耐久性の確認や、センサーと連携するアプリの開発に取り組む。

問 ふるさと納税は

山田議員 ふるさと納税は31億円を超え、重要な財源となってきた。さらなる納税額の増加を考えると、桃やぶどうなどのほかに、体験型の返礼品も商品価値が

あると思われる。

答 令和4年度の寄附額は31億6301万円

山田市長 令和4年度のふるさと納税寄附額は、31億6、301万円に達し、県内で3番目、全国でも50番目の金額となっている。パレットやPR動画の制作、SNSを活用した情報発信など、より効果的なプロモーションを展開するとともに、寄附を受け付けるポータルサイトの拡大を図るなど、寄附額の増加に取り組んでいる。自治体間の競争が一層激しくなっていることから、安定した寄附額の確保を図るため、年間を通じて提供できる返礼品や魅力ある返礼品の拡充に取り組んでいる。





体験型の返礼品については、以前、高額納税者に対し、「川中島合戦戦国絵巻」の武将役を返礼品として、好評をいただいたこともある。効果的と考えられるので、今後研究したい。

問 子育て、学習環境は

山田議員 ①子育て支援の評価調査は。

②児童手当増額の検討は。
③フリースクールに通うことに関わる補助や助成は。

答 国の動向を踏まえ 研究していく

山下乡長 ①5年を1期とする「子ども・子育て支援事業計画」策定のため、未就学児のいる家庭及び小学生のいる家庭、合計3、500世帯にアンケート調査を実施している。個別事業の認知度、利用度、満足度、満足していない場合の理由などを回答いただいている。報告書にまとめ、できる限り事業計画に反映させたい。

②児童手当は、国から地方自治体が事務を受託している。令和5年6月に閣議決



定した「こども未来戦略方針」の中で「加速化プラン」として、令和6年度中に児童手当を拡充するとしている。所得制限の撤廃、15歳に到達後の最初の年度末までとしている支給期間を18歳に延長、第3子以降1万5千円としている多子加算を3万円に増額するもの。子育て支援については、このような国の動向を踏まえ、研究していく。

③千葉県などが行っているフリースクールに通うことに係る公的支援は、児童生徒が在籍する学校長が出席扱いできると判断していることや、市が独自に作成したガイドラインに則った学習や活動等の支援が行われていることなど、様々な要件を設けた上で、補助や助成を行っている。これら先進自治体の取組を研究する。

代表質問

笛政クラブ



岡 由子
議員

問 令和4年度決算は

岡由子議員 ①魅力あるふるさと納税のための対策は。

②防災備蓄倉庫の設置場所と基準、市民への周知は。

③障がい者を想定した避難所や備蓄品は。
④就農者の支援は。

答 ふるさと納税の寄附額 増加に取り組んでいる

山下乡長 ①シャインマスカットや桃は、全国で多くの自治体が返礼品としており、競争が激しくなっている。パンフレットやPR動画の作成、SNSを活用した情報発信など、より効果的なプロモーションを展開し、寄附を受け付けるポータルサイトの拡大を図るなど寄附額増加に取り組んでいる。令和3年度から、旅

行者などがスマートフォンから寄附し、その場で電子ギフトが受け取れる「旅先納税」制度を全国に先駆けて導入した。年間を通して提供できる返礼品の拡充に取り組んでいる。

②避難所備蓄倉庫は、避難所運営に必要となる備品や消耗品を保管するもので、令和3年度から3年間かけて整備している。既存の拠点備蓄倉庫が近くにある指定避難所を除いた28カ所に、53棟の倉庫を設置した。令和6年度に配備する備蓄品の整備が完了したところで、市の広報紙等で市民に周知。

③8カ所の公共施設を福祉避難所に指定している。市内40の民間福祉施設と要支援者の受入れ協定を締結しているが、さらに市指定の福祉避難所としての協定締結に向け協議している。車いすなどの物品を備えているが、さらに必要な備蓄品を整備する。

④令和4年度の市単独事業は、事業主として新規就農した45歳未満の人を支援する「新規就農者支援事業」が12件700万円、専従者として親元に就農した35歳

未満の人を支援する「新規就農農業後継者支援事業」が18件558万円。

問 文化財の観光資源としての活用は

岡議員 ①文化財の保存と活用について、行政の方針を明確にし、賛同する市民と協働することが大切。市の考えは。

②文化財に設置されている説明看板には、老朽化で文字の読めないものもある。説明看板の計画的な交換は。

③甲斐国分寺跡、国分尼寺跡の保存活用計画は。
④文化財説明看板へのQRコードの設置は。

答 観光資源と合わせた 周遊などを活用

山下乡長 ①史跡案内のポランテアガイドの育成や保育園や観光協会と連携した花卉の植栽などに取り組んできた。今後は、地域を広げ市民との協働を推進する。

②看板は現地調査や地域からの要望に基づき、毎年更新している。観光客の動線なども考慮し計画的に更新する。

③現在、保存活用計画の策定を進めている。市内の文化資源や観光資源と組み合わせた周遊など、観光面での活用についても方針を示している。

④国分寺跡を含め、岡・銚子塚古墳など8カ所の説明看板にQRコードを設置している。今後も来訪者の動向を考慮し設置していく。

問 想定浸水深の表示など水害対策は

岡議員 近年100年に一度といった表現がされるほどの甚大な被害をもたらす水害が多発している。



る指定避難所の周知は。

②電柱や公共施設への想定浸水深の表示は。

③マイ・タイムラインの活用と啓発は。

④小中学生への防災教育は。

答 危機意識醸成に有効な設置を検討

山下市長 ①災害発生時の避難方法、「地震」「水害」「土砂災害」の災害種別ごとに開設する指定避難所と避難する行政区の一覧、非常時の持ち出し品や円滑な避難方法をまとめた冊子「災害発生時の避難方法について」を、令和3年7月

に広報紙の配布にあわせて

全戸配布した。開設する指定避難所と避難する行政区の一覧は、市ホームページのほか、毎年、広報5月号に掲載し周知している。

②笛吹川の右岸のほぼ全域が浸水想定区域に指定されている。市内の60行政区に及ぶ。浸水の深さを周知することは、平時からの危機意識の醸成に有効であることとから、設置を検討している。表示設置に伴う将来的な維持管理も考慮し、防災アプリの拡張機能であるAR技術を活用した想定浸水深の表示についても検討する。

③マイ・タイムラインの計画様式は、令和4年8月の広報紙配布にあわせて全戸配布した。令和5年度の総合防災訓練では、行政区における防災訓練のポイントとして、各家庭におけるマイ・タイムラインの作成の確認をお願いした。令和3年度から着手している地区防災計画策定支援のワークショップで、各家庭で作成すること、行政区として活用することも検討し、地区防災計画に記載した。行政区対象の出前学習会などで

マイ・タイムラインの必要性や、作成方法の説明を行い、各家庭での作成促進を図っている。

④各学校では、学校や地域の実情を踏まえ、地震や洪水などの災害を想定した危機管理マニュアルを作成している。児童生徒には、マニュアルに基づく災害への対処方法を指導するとともに、年間を通して計画的に各種避難訓練を実施している。防災に関する出前授業を実施している学校もある。マイ・タイムラインを活用し、家族で避難行動計画について話し合うよう「学校だより」などで周知している。

誠和会



小林 始
議員

問 令和4年度決算は

小林始議員 ①子育て世代住宅取得補助事業は。

②石橋産業導入地区基盤整備事業は。

③新道峠展望台整備事業は。

④防災備蓄品の現状と廃棄は。地区防災計画の進捗は。災害廃棄物処理行動マニュアルの策定は。

⑤農業集落排水特別会計の不用額増加の理由は。

⑥収納率向上の要因と市税納付方法別の割合は。

答 市税収納率は過去最高の95%

山下市長 ①令和4年度の補助金交付は146件、4,330万円。市外からの移住者が39件、市内アパートなどからの定住者が107件。制度導入の平成

代表質問



30年度以降、市外からの移住者は増加傾向にある。

②令和4年度は、配水管布設計業務、配水管布設計工事220m、下水道管渠布設工事736mを実施。事業費は8、714万円で、その2分の1は県が負担。

現在入居している企業は10社で、約600人を雇用している。操業に向けて2社から入居申し込みがあり、関係各課が調整を行っている。残りの5区画も地元の雇用促進につながるよう、優良企業の誘致に努める。

③4月25日から11月28日までの間、FUJIYAMAツインテラスの間、FUJIYAMAツインテラスへ送迎バスを運行。すずらん群生地駐車場に環境に配慮したトイレを設置し、来場客の利便性向上を図った。バス利用者は21、470人。今後、すずらん群生地駐車場に、FUJIYAMAツインテラスのエントランス施設として、観光案内所や飲食スペースを整備する予定。

④防災備蓄倉庫整備事業は、今年度12カ所に22棟を設置する。今年度整備した倉庫への備蓄品や消耗品の配備は、令和6年度に行い事業

代表質問

が完了する。賞味期限のある食品は、期限を迎える前に、市内の生活困窮者に配布し、残りをフードバンクに寄附している。5年以上経過した保存水は、生活用水用に2年間程度保管し、それ以上は廃棄している。

地区防災計画策定の実績については、モデル地区を選定し、令和3年度は浸水想定区域と土砂災害警戒区域を除く「その他区域」として5行政区、令和4年度は「浸水想定区域内」として4行政区、令和5年度は「土砂災害警戒区域内」として4行政区で計画策定を行い、今年度末には13の行政区で地区防災計画が完成



する。

災害廃棄物処理行動マニュアルについては、新たな被害想定を踏まえた地域防災計画の改定作業の進捗などにあわせ、策定業務が繰り越しになったが、9月末までに策定を終える予定。

⑤農業集落排水施設は通常の修繕とは別に、マンホールポンプの交換など、突発的に多額の費用が掛かる改修があり、前年度の繰越金を予備費に計上して対応。ここ数年は突発的的事案が発生していないため、不用額が増えている。

⑥督促状や催告書による納付の促し方法の工夫、スマートフォンアプリによる収

納の導入など、納付環境の整備を行ったことにより、現年課税分の収納率は99・1%になった。財産調査の電子調査や電子差し押さえの導入、職員の徴収スキルの向上により滞納整理が進み、滞納繰越分を含めた市税収納率は過去最高の95%となった。

納付方法別の割合は、金融機関などでの現金納付が46・8%、コンビニ納付が28・9%、口座振替が19・7%、スマートフォンアプリ納付が2・4%、エルタックスを利用した電子納付が1・8%、クレジット納付が0・4%。

問 多目的芝生グラウンド整備は

小林議員 ①整備基本計画の市民説明会への参加人数と意見は。

②スケジュールは。

③地権者への対応は。

答 令和5年10月に説明会を開催

山下市長 ①2日間で延べ298人が参加した。早期整備を望む声、費用や財源に関する質問のほか、用地

や農地、スポーツツーリズム、導入する人工芝、環境への影響などの様々な質問や意見が出された。質疑応答に丁寧な答え、市民の理解が深まったものと考えている。

②今年度は、地権者や整備候補地の行政区及び周辺行政区の皆様に丁寧な説明を行い、理解を得ながら、基本設計や測量に着手する。用地取得や工事着手に向け、関係機関と協議を行う。令和6年度以降は実施計画に着手し、用地取得後に建設工事を行い、令和9年度中の完成を目指す。

③農作業が一段落する10月に地権者を対象とした説明会を行う。

問 学校教育は

小林議員 ①ICT機器の活用による学校現場の変化は。

②ICT機器の活用による教師の多忙化解消は。

③不登校児の現状は。ステラの利用状況、不登校児などへの遠隔教育は。

④自転車のヘルメット着用の啓発や購入の推進は。小

中学生の着用率は。

答 ICT機器の活用により学習意欲が向上

山下市長 ①「個別最適な学びの成果」では、タブレットや大型提示装置などのICT機器やデジタル教材を活用し、自分に合った進度で学習することが容易になり、学習意欲が高まったとの報告を受けている。「子どもたちの学び方や行動の変化」では、画像や動画を活用した授業により、興味関心や学習に対するモチベーションが向上し、進んで学ぶ姿勢や友達と協力して学ぶ姿が多く見られる。「デジタル教科書の効果や影響」では、全小中学校で英語のデジタル教科書を導入した。動画や音声の再生、書き込みや編集が可能で主体的・対話的で深い学びができています。

費の公会計化や市役所における学校徴収金の実施、大型プリンターの設置、市費負担講師や学校サポーターなどの配置により、教職員への負担は軽減し、子どもと向き合う時間の確保につながっている。「ICT機器に不慣れた教師への対応」では、今年度から、教育委員会にICT支援員を配置し、学習会の実施や日常的な支援を行っている。

③令和4年度時点で、市内小中学校で延べ30日以上長期欠席者は180人で、全体の児童生徒数の3.8%。

④ヘルメット着用率は把握していないが、学校や交通指導員による交通安全教室や自転車教室などで啓発に努めている。

問 行政区からの要望は

小林議員 ①要望件数、実

施件数、事業費は。
②各支所での優先順位付けと地区別配分枠は。

答 令和4年度から優先順位付け

山下市長 ①令和3年度は

要望419件の内138件を事業化し、実施率は32.9%、事業費は約4億6千万円。令和4年度は要望506件の内135件を事業化し、実施率は26.7%、事業費は約3億6千万円。令和5年度は要望594件の内189件を事業化し、実施率は31.8%を見込んでおり、事業費は9月補正予算ベースで約3億6千万円。事業内容により県補助金などを活用している。

②各支所で受け付け要望内容に応じて担当課に集約される。担当課は現地確認の上、必要性・緊急性に応じ優先順位を付けている。令和4年度からは、特に要望が多い農林土木課と土木課について、点数化した評価基準を用いて優先順位付けを行い、実施の可否を判断している。地区別の優先順位や予算配分枠はない。

代表質問

公明党



渡辺清美
議員

問 奨学金返還支援制度は

渡辺清美議員

公明党は今

までも学びたい者が経済的理由で進学をあきらめることのない社会を目指して、奨学金制度の対象者拡大や返済不要の給付型奨学金の実現に取り組んできた。近年、奨学金返済の延滞者が急増している。奨学金返還に苦しんでいる若者の負担を軽減し、地方創生の観点から若者の地方定着を促す奨学金返還支援制度がある。2022年6月現在で全国615市町村が導入している。笛吹市も導入すべきと考える。市長の見解を伺う。

答 実施に向けた検討を進める

山下市長 奨学金返還支援制度は、市内に一定期間居

住することや就業することなどの助成要件を設けた上で、奨学金の返還を市が支援する制度で、将来の地域の担い手となる若者たちの定住促進につながることを期待される。山梨県のほか、8市町が制度を導入している。先行自治体の利用状況や導入効果などを参考に、実施に向けた検討を進める。

問 水害被災家屋認定調査の迅速化は

渡辺議員

①被害認定調査

の実施体制および調査期間の迅速化は。

②損害保険会社は調査から支払いまで最短3日で完了する。自治体によつては、罹災証明書の申請も損保会社経由で可能としており、被災者による自治体への手続きは不要になるケースもある。罹災証明書発行における官民連携は。

③被災者の苦境、不安につけ込む悪徳業者に騙されなためための取り組みは。

答 罹災証明書は申請から1カ月以内の発行を目指す

山下市長 ①罹災証明書交付のための被害認定調査は、



税務課の家屋調査を担当している職員を中心に調査を実施する。大規模災害の発災後は概ね1週間以内に調査業務を実施する。申請から証明書の発行までの期間は、災害規模により前後するが、概ね1カ月以内の発行を目指している。

②罹災証明書の発行業務は、内閣府が示す「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」や「災害の被害認定基準」などに基つき行う。一方、損害保険会社の認定基準や調査の対象部位、損害割合の算定方法は、国の基準と異なる。今後、罹災証明書に関する官民連携の取組を行っている自治体の事例を調査し、速やかな発行に向けて検討する。

③災害時に市民が悪徳業者の被害に遭わないように、被害の事例を市のホームページや広報紙に掲載するなど注意喚起を行う。

問 通学路への防犯灯設置は

渡辺議員 笛吹高等学校の南側に位置する国道20号線成田交差点から八代方面に通じる市道と農道は、高校

に通学する多くの生徒が利用しているが、防犯灯が少なく、住宅も少ないため夜間は暗く危険だ。

①設置予定の防犯灯の基数と進捗状況は。

②今後のスケジュールは。

③維持管理費の負担は。

答 令和5年度末までに設置の予定

山下市長 ①当該路線の全長1.7kmに、39基の防犯灯を整備する計画。令和5年8月31日現在、18基の設

置が完了し、点灯を開始している。

②令和5年度末までに完了できるよう事業を進めている。

③当該路線の防犯灯については、笛吹高校から設置要望があったことなどを踏まえ、通学する生徒をはじめ、利用する方々の夜間での自転車や歩行での安全や犯罪の未然防止などを図るために、市が政策的に設置したものであり、維持管理費は市が負担する。



みさかの湯付近の街路灯

代表質問

日本共産党



河野智子 議員

問 PayPayポイント還元による消費喚起は

河野智子議員 ①ペイペイの利用割合は。

②市外の人の利用金額・ポイント取得額と割合は。

③競争原理を働かせる契約だったか。

④参加と不参加の各事業者数は。

⑤事業者の平均利用額、ポイント付与額、利用額が多い上位3位の業種と金額は。

⑥業種ごとの分析結果は。

⑦多額の市費を使った事業であり平等性・公平性および効果について十分に検証し、今後の政策に生かすことが必要だ。総括、結果の公表は。

答 市内経済の活性化につながる

山下市長 ①②ペイペイ株

式会社から公表されていない。

③ペイペイを導入するに当たり、他のQRコード決済会社との比較を行った。国内事業者16社のうち、ペイペイは、全国の会員数5、800万人で、決済回数及び決済金額のシェアが国内一位であるとともに、他のQR決済に比べ手数料が安価となっている。令和3年度にも本市では消費喚起キャンペーンを実施しており、市内事業者が新たな決済方法を導入することなく参加しやすい環境となっていることから、ペイペイ株式会社と本事業を実施した。

④参加事業者数は1、045店舗。参加しなかった事業者数は把握していない。

⑤総利用金額約37億円と総ポイント付与額約10億円を事業者数1、045件で除した1事業所当たりの事業利用額は約350万円、ポイント付与額は約95万円。利用額が多い業種は、小売業約23億3千万円、飲食業約5億9千万円、宿泊業約4億1千万円。

⑥小売業、サービス業、飲



食業など、様々な業種で幅広く利用されており、本事業の目的である市内経済の活性化につながったと考えられている。

⑦キャンペーンに参加した全事業者へのアンケート調査を実施しており、結果がまとまり次第、市ホームページに公開する予定。



問 自衛隊への名簿提出の中止は

河野議員 ①今年度の名簿提供の対象者は。

②名簿の利用状況は。

③名簿の管理状況は。

④除外申請の検討は。

⑤名簿提供は義務ではないのでは。

⑥名簿提供の中止の考えは。

答 情報提供を希望しない方は今年度から除外

山下乡長 ①令和5年4月17日付け自衛隊山梨地方協力本部からの依頼に基づき、平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれまでの600人の名簿提供を行った。

②自衛隊山梨地方協力本部において、対象者全員に自衛隊募集の案内はがきを郵送している。

③自衛隊山梨地方協力本部では、名簿は鍵のかかる棚に保管し、利用後に裁断し破棄している。

④例年2月に名簿提供の依頼がある。自衛隊への情報提供を希望しない方については、今年度から他市の例を参考に、自衛隊への提供情報から除外することとし、市ホームページと広報紙で周知する。

⑤⑥自衛隊法施行令第120条では「防衛大臣は、自衛官又は自衛官候補生の募集に關し必要があると認めるときは、市長に対し、必要な報告又は資料の提出を求めることができる」と規定されている。資料には

住民基本台帳の一部の写しなどが含まれると解されることから、本市では防衛大臣からの求めに応じ、紙媒体による名簿提供をしていない。名簿提供を中止する考えはない。

問 エアコン設置、電気代助成は

河野議員 ①生活保護世帯へのエアコン購入費の支給要件は。

②生活保護世帯に関わるエアコン設置の把握は。

③平成30年度以降のエアコン購入費の支給件数は。

④高齢者に対するエアコン設置助成は。

⑤低所得者への電気代の助成は。

答 法例に基づき適切に対応する

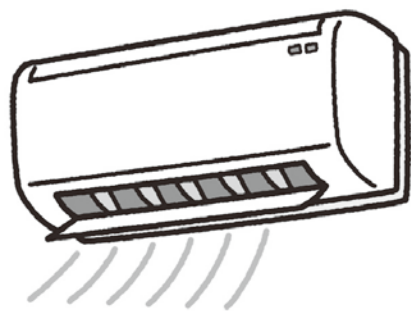
山下乡長 ①国の定める「生活保護法による保護の実施要領」において「生活保護世帯に属する被保護者に熱中症予防が特に必要とされる者がいる場合であつて、最低生活に直接必要な冷房器具の持ち合わせがなく、やむを得ない場合には、購入費用について6万2千

円の範囲内で必要額を認定できる」と規定されていることから、この要領に沿って対応している。

②生活保護開始時の居宅確認を行う際、エアコンを含め、生活に必要な家財道具の有無を確認している。

③平成30年7月に生活保護法による保護の実施要領が一部改正され、冷房器具購入費の支給が可能になった。これまでの支給件数は8件。

④国や県の動向、他市の状況



況を注視しながら検討する。⑤低所得者に対する助成として、令和4年度に、県が負担する1万5千円に市独自で1万5千円を上乗せし、1世帯当たり3万円を給付する「生活困窮者緊急生活支援金事業」を実施し、6、757世帯に2億271万円を給付した。「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業」として令和4年度に1世帯当たり5万円を、6、350世帯に対し3億1、750万円を給付し、さらに令和5年度に「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業」として、1世帯当たり3万円を、8月31日現在、5、493世帯に対し1億6、479万円を給付している。低所得世帯への電気代助成は、今後も国県の動向を注視し検討する。

代表質問

9月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、5人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問

笛新会



武川則幸
議員

問 マイナ保険証制度での
医療向上は

武川則幸議員

①本市、県内各市のマイナナンバーカード取得状況は。

②医療機関窓口への読み取り機設置状況、補助は。

③ひも付けミスの有無は。

④不安払拭のための対応とは。

⑤マイナ保険証推進の取り組みは。

答 データに基づく最適な医療を受けられるなど多くのメリット

市川市民環境部長

①本市の取得状況は令和5年7月末現在で48、225枚、71・3%。保有率が高い市は都留市の75・6%、低いのは北杜市の66%。

②病院・診療所が39施設、歯科が21施設、薬局が25施設で読み取り機を設置。設置に関し、国の交付金がある。

③国保被保険者のマイナ保険証・公金受取口座の紐づけ誤り情報はない。

④市民からの不安の声を払拭するための対応を国に求めた。

⑤市ホームページや広報紙などでメリット等を周知し、利用促進を図っている。

問 堤防天端崩壊の備えは

武川議員

①地区防災計画策定支援の進捗状況は。

②職員初動マニュアルの進捗状況は。

③水位や雨量の確認は。

④避難者名簿の作成・管理は。

⑤個別避難計画の進捗状況は。

⑥要配慮者利用施設の対応は。

答 地区防災計画の策定支援や発令判断の体制強化等

雨宮総務部長

①今年度末には13の行政区で計画が完成。

②地域防災計画の完成にあわせ、令和6年2月を予定している。

③国や県が提供している水位情報、

民間企業の雨雲レーダー等を確認

④入退所等管理システムの導入検討。

⑤6月末に個別避難計画の対象者4、497人に作成意向を確認するための通知を発送。今後、計画作成の補完業務を居宅介護支援事業所へ委託する。

⑥避難確保計画を作成していない事業者等には、防災危機管理課が計画作成を支援する内容を記載し、毎年度通知している。

清心会



河野正博 議員

問 第2次笛吹市環境基本計画は

河野正博議員 ①第2次笛吹市総合計画との整合性は。

- ②市役所各部の連携は。
③長期計画の再検討は。
④豊かな自然と人とが共生するまわりの重点施策と成果、課題は。
⑤生活環境重点施策と成果、課題は。

答 市の将来像を環境面から実現

市川市民環境部長 ①市の将来像を環境面から実現するための計画として、総合計画と整合性をとりながら策定した。
②基本施策ごとに目標指標を設定、達成度を庁内各部署に確認し、環境推進課が取りまとめを行っている。
③令和7年度に後期5年間の計画を見直す。
④成果は農業の担い手育成など、課題は耕作放棄地の有効活用など。
⑤成果は市民、事業者、市それぞれによる循環型社会の実現に向けた取組、課題はごみ減量化に向けた継続的な取組、不法投棄やモラル向上など。

問 笛吹消防本部の業務は

河野議員 ①全救急車出動時の救急活動対応は。

- ②全救急車出動時の他消防の応援は。
③救急対応の軽症・中等症・重症割合は。
④不要不急の救急要請を減らす啓蒙活動は。
⑤5類移行後の救急隊員の対応は。

答 他の消防本部と相互に助け合いながら対応

鷺川消防長 ①予備非常用救急車を出動、近隣消防本部にも応援依頼。
②山梨県常備消防相互応援協定に基づいた応援を行い、助け合うことができている。

- ③令和4年中の軽症は1,511人41・8%、中等症は1,696人47%、重症は348人9・6%、死亡は57人1・6%。
④ポスター掲示や適正利用を促すマゲネットシート等でも啓蒙活動。
⑤ゴーグル・高機能マスク・上下感染症防止衣・手袋等個人防護具を装着感染防止対策に万全を期している。

笛新会



荻野謙一 議員

問 LGBT理解増進法施行は

荻野謙一議員 6月にLGBT理解増進法案が施行。海外では混乱が生じ、深刻な社会問題となっている。

厚生労働省は、旅館などの共同浴室の男女の区別に、「身体的な特徴をもって判断するもの」との見解を示し、都道府県、保健所設置市などに通知。石和春日居温泉を抱える観光地として、当該問題に真剣に取り組む必要がある。

- ①学校、公共施設等の女性専用トイレの判断は。
②ホテル、旅館、公共温泉施設等利用の際の男女の区別は通知どおりか。
③包括的性教育は許可しないとの理解でよいか。

答 小中学校では学習指導要領を基に指導

太田教育部長 ①学校や公共施設は、LGBT対応のために女性専用トイレをなくすことは考えていない。学校は本人等からの相談に応じ、多目的トイレや職員トイレの利用を考えている。公共施設は、多目的トイレの利用により対応していきたいと考えている。
②山梨県では公衆浴場法施行条例第4条第1項で、措置の基準を定めており、「7歳以上の男女を混浴させないこと」としている。厚生労働省通知では「男女」の取扱いについて、「風紀の観点から混浴禁止を定めている趣旨から、身体的な特徴をもって判断するものであり、例えば、体は男性、心は女性の者が女湯に入らないようにする必要はあるものと考えられる」としており、市のホテルや旅館、市営温泉施設の浴場利用における男女の判断基準も、身体的な特徴の性をもって判断している。
③市内の小中学校では学習指導要領に基づき、学校教育活動全体を通じて、児童生徒が性に関して正しく理解し、適切に行動がとれるよう理解することを目的に「性に関する指導」を行っている。



公共施設の多目的トイレ

一般質問

日本共産党



渡辺正秀
議員

問 多目的芝生グラウンド整備は

渡辺正秀議員 ①検討委員会答申と基本計画。

- (ア) 議会の議論対象は市の計画では。
- (イ) 市民の意見を募っていない。
- (ウ) 説明会・意見交換会を十分な回数行うべき。

(エ) 強制収用の考えは。

② 整備費・維持管理費。

(ア) 総事業費が大きすぎる。

(イ) 財源はいくら見込んでいるか。

(ウ) 芝張替えの費用は。

(エ) 既存施設活用の検討は。

答 市民や議会の意見も参考に計画策定

返田総合政策部長

①(ア)議会からの意見も参考にし基本計画を策定、計画の策定段階から議論いただいていると考えている。

(イ)基本計画の策定段階から策定後まで、市民の意見を聞き進めている。

(ウ)今後は地権者、整備候補地の行政区及び周辺行政区の理解が得られる

よう、丁寧に説明していく。

(エ)強制収用は考えていない。

③(ア)概算事業費は総額36億7、240万円と算出。

(イ)ふるさと納税寄附金を積み立てたまちづくり基金を優先的に充当。

(ウ)人工芝の全面張替費用はサッカーコート1面当たり1億円程度と想定維持管理費に張替費用等は加味していない。

(エ)整備面積は約59、000㎡で、安全かつアクセスしやすいことが重要。既存施設では、これらの規模や位置に対応していないことから、新たな場所を選定する考えとなった。

問 給食費無償化・休暇中の保障は

渡辺議員 ①給食費無償化の実施は。

②長期休暇中の給食の提供は。

③ほかにも調査して対策を。

答 国・他市の状況注視し総合的に判断

太田教育部長

①令和5年度の無償化費用は約3億円。今後は、国や他市の状況を注視し、総合的に判断する。

②長期休暇中の希望児童生徒を対象とした給食の提供は考えていない。

③生活困窮世帯に対して必要な支援を行っていく。

公明党



中川秀哉
議員

問 交通安全対策への取り組みは

中川秀哉議員 「交通事故ゼロの日」が1日でも多くなることを目指し、市の取り組みと課題を伺う。

①市内交通事故の推移と事例。

(ア)子どもが被害の件数と事例は。

(イ)高齢者が被害の件数と事例は。

(ウ)その他の被害の件数と事例は。

②自転車の利用法の啓発と取り組み。

(ア)「安全利用五則」の啓発活動は。

(イ)ヘルメット購入費の一部助成は。

(ウ)自転車任意保険の一部助成は。

③シニアカーの利用法と啓発活動。

(ア)交通ルールの周知、講習計画は。

(イ)任意保険の加入促進と課題は。

(ウ)歩道整備計画は。

答 交通ルール周知・啓発に努める

市川市民環境部長

①(ア)令和3年が8件、令和4年が10件で、多くは自転車での飛び出し事故。

(イ)令和3年98件、令和4年が82件で、多くは運転中の追突や出合い頭の衝突事故。

突事故。

(ウ)令和3年111件、令和4年117件で、その9割が車の運転中の追突や出合い頭の衝突事故、全体の発生件数はわずかに減少。

②(ア)小学4年生対象に、各小学校で開催する専門交通指導員と警察官による「交通安全教室」や、高齢者対象の専門交通指導員による「交通安全教室」で、「自転車安全利用五則」を用い、自転車の交通ルールなどを説明している。

(イ)(ウ)生活保護世帯は通学・就労に必要な必要経費が認められており、ヘルメットの購入・任意保険の加入費用は、保護費から支給される。

③(ア)行政区からの要望で高齢者教室を開催、交通ルール等の周知・啓発を行っている。

(イ)シニアカーの利用者の把握ができないため、利用者に直接、任意保険の加入促進ができないことが課題。(ウ)新たな歩道の整備は、交通量や必要となる用地等を総合的に判断して進めていく。



総務常任委員会

委員長 荻野 謙一 副委員長 河野 正博

委員 河野 智子 保坂 利定
渡辺 清美 古屋 始芳

9月15日、19～22日の5日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正、令和5年度一般会計補正予算、令和4年度一般会計歳入歳出決算認定、普通財産の譲与、動産の取得を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈総務部所管〉

Q 庁舎等施設整備事業の備品購入費に関し、購入する書庫の詳細説明を求めます。
A 戸籍住民課で1月から実施する予定の「書かない窓口システム」開始に伴い、執務室内のレイアウト変更の必要性が生じ、限られたスペースを有効活用するため、壁面収納を設置する。
Q 具体的なレイアウトは。
A 市民窓口館201会議室で行っているマイナンバーカードの受付事務を、効率化の観点から、同じ戸籍住民課内の執務内に移す変更も併せて行うため、壁面収納を整備し、スペースを有効活用する。

Q 来庁者の待合スペースと通路が、狭くなる懸念はないのか。
A 書かない窓口システム導入で、既存の記載台の設置の必要がなくなり、十分なスペースを確保できる。
Q 収納率が上がっているが、要因は。
A 総合県税事務所の職員が派遣され、徴収技術の向上が図られた。また、大きな案件が整理できた事、滞納額に対する滞納繰越の分母が下がった事、電子調査導入で、財産調査に係る時間の短縮が図れたなどが要因。
Q 年間の差し押さえ件数と成果は。
A 令和4年度は382件、対象税額1億7、669万円に対し、換価したものは4、655万円で、滞納繰越額に対する換価額の割合は6%。
【意見】 収税課の努力の成果と評価する。差し押さえ等の件数の資料も、職員の労苦が分かる結果なので、委員会に出してほしい。

〈総合政策部所管〉

Q 歳入の寄附金について、説明を求めます。
A 企業から地域再生計画に基づく「子どもが、自ら学ぶ力を家庭・学校・地域の連帯により育むことが出来る地域づくり事業」に対して企業版ふるさと納税寄附金の申し出があり、学校教育課所管の「小中学校ICT環境維持整備事業」において、タブレット端末の入れ替えの費用に充当する。
Q これまでの企業版ふるさと納税の実績は。
A 令和2年度からの取り組みで、今回8例目となる。

〈市民環境部所管〉

Q 購入する物品の更新年数が異なると思うが、どのように管理していくのか。
A 防災備蓄品はデータで管理し、期限のあるものは順次入れ替えをしていく。
Q 医薬品は、どのような整備を行っているのか。
A 保健福祉部健康づくり課で、購入・管理。
Q ふるさと納税事業で、市が掲載しているポータルサイトの数は。
A 6つのサイトに掲載。
Q ポータルサイトの考え方は。
A 掲載手数料は寄附があった場合に限り発生する。固定経費はかからず、自治体間競争の複数サイトに掲載する事は、ふるさと納税寄附金を確保するには有効と考えている。

〈消防本部所管〉

Q 通信指令室および無線設備保守点検委託料の、2回の点検内容と委託先は。
A 通信指令施設本体の機器の点検保守、無線設備の点検保守と2つの中で行っている。委託業者は設備設置業者と随意契約している。

が週に4日、電話や対面で相談を行っている。行政区等から要請があれば出向いて講座なども行っている。
Q SNS等を使用して詐欺等の事例の、県や警察との連携は。
A 県や警察からメールなどで情報を得られる。また、相談員の意見交換会などで把握している。



委員会審査

教育厚生常任委員会

委員長 中村 正彦 副委員長 山田 宏司

委員 岡 由子 神宮司正人
中川 秀哉 渡辺 正秀

9月15日、19～22日の5日間委員会を開催、条例の一部改正、令和5年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、令和4年度一般会計歳入歳出決算認定、特別会計歳入歳出決算認定を審査し、原案の通り可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈保健福祉部所管〉

Q 障害者相談支援事業で、コロナ禍や老々介護等、さまざまな不安要素が取り巻く社会環境だが、どういった相談が多かったのか。

A 障害福祉サービスの利用に関する相談が多く、その他には就労に関すること、日常生活の中での不安感から精神的に不安定になってしまったことのアドバイスを求める相談などがあった。

【意見】 多種多様な相談があると思うが、引き続き対応を進め、障がい者に対する成年後見を官民連携で取り組んでいってほしい。

〈市民環境部所管〉

Q 指定ごみ袋保管庫借り上げ料は、保管庫としてどこの施設を借りているのか。

A J A ふえふきが、過去に共選所として使用していた施設を借りている。

Q なぜ共選所で使用していた施設を借りているのか。

A ゴミ袋は、納品されると膨大な量があり、かなり広いスペースがなければ保管できないため。

〈子供すこやか部所管〉

Q 私立保育所等施設整備事業負担金、補助金および補助金申請取り下げの詳細説明を求める。

A 補助金は使わずに自園負担で改修事業を実施するとの申し出があった。

Q 別の機会に、再度申請をしたとき、過去に取り下げの経過がある場合、受けをしないことはないか。

A 内容に応じ審査をするので、そういった事はない。

〈教育委員会所管〉

Q 御坂中学校校舎等改築事業で、既存校舎解体による2方向避難経路の確保は協議がされているのか。

A 生徒の安全・安心のため一番に確保しなければならぬ。設計者以外に消防本部にも確認してある。

Q 避難経路に外階段を使用することに問題はないか。

A 安全性は重要な点で、確認済みである。

【意見】 今の生徒たちはめったに外階段を使用することがないので、慎重に対応していってほしい。

〈部活動県選手権・県総体・県新人戦バス借上料の補正について、詳しい説明を求める。〉

A 今年度より地区予選がなく、直接、県大会へ出場することになった。バスの使用料が増えたことや団体競技が、関東大会・全国大会に出場したことで、多額の経費がかかったため、その分の補正をお願いするもの。

Q 関東大会・全国大会に出場するチャンスが増えたことは、良いことだが、保護者の負担軽減を研究していただきたい。

A 大会に出場するまでのバス代・宿泊費は補助が出るが、一部競技には出にくい要綱になっている。今後研究していきたい。

Q 図書資料購入について、コロナ禍で図書の貸し出し数は減

〈少傾向にあったと思うが、昨年度の貸し出し数は何冊くらいだったのか。〉

A 32万8、221冊であった。

Q 貸出した図書の破損や汚損の事例も聞かれるが、どのように対応しているか。

A 利用者に対し、正しい利用方法を呼びかけ、掲示物などで周知し、図書がすべての市民の財産であるということを伝えている。



委員会審査

建設経済常任委員会

委員長 武川 則幸 副委員長 神澤 敏美

委員 落合 俊美 野澤今朝幸
海野利比古 小林 始

9月15日、19～22日の5日間委員会を開催、令和5年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、水道事業会計補正予算、公共下水道事業会計補正予算、令和4年度一般会計歳入歳出決算認定、特別会計歳入歳出決算認定、事業会計決算認定、市道廃止、市道認定を審査し、原案の通り可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈産業観光部所管〉

Q 農業振興費地域農業振興事業で、産地パワーアップ事業補助金の対象作物と内容は。

A シヤインマスカットの加温ハウス整備が8件、簡易雨よけ施設の整備が2件。

Q 新道峠展望台整備事業の送迎バス運行業務委託の他に、送迎バス運行前点検管理業務委託について、詳しい説明を求め。

A バスの運行開始前に林道に落石がないかなどの安全確認、トイレや展望台周辺の清掃を、シルバー人材センターに委託しているものである。

【意見】 事業を長期的に捉え、費用対効果を十分に考慮して進めてほしい。

Q 森林経営管理事業において、委託した森林経営管理意向調査についての調査結果は。

A 令和4年度は境川地区の507林班と509林班において、20・52畝の森林を対象に調査を行い、対象面積の約半分の10・23畝で、市とともに森林を管理した

い意向があるという結果となった。

〈建設部所管〉

Q 公園維持管理事業で、

笛吹みんなの広場は防災機能を兼ね備えており、発災時には自衛隊などのヘリコプターの離着陸場として活用することとなっているが、遊具の設置による影響はないのか。

A みんなの広場はAからD面の4区画に分けられており、今回遊具を設置するのは一番東側のD面で、ヘリコプターの離着陸場はC面を利用するため、影響が出ないように検討している。

Q 道路維持費 道路構造物長寿命化事業の委託について、橋梁定期点検業務は何か所行ったのか。また、石和温泉駅自由通路点検業務は何を行ったのか。

A 市内には700を超える橋梁があり、国の指導で5年に1度定期点検をすることが義務付けとなっている。石和温泉駅自由通路は市道のため、他の橋梁と同様に定期点検が必要であり、

令和4年度に委託により実施した。

〈公営企業部〉

Q 農業集落排水特別会計の予備費に約3,000万円が予算計上されたが、予算執行はなかった。また、

歳入と歳出の差し引きによる、翌年度への繰越金も3,408万5千円となっているため、一般会計からの繰入金、約3,500万円について減額してもよい

のではないかと。

A 予備費は施設が老朽化しているため、通常の修繕とは別に、高額な修繕費用が必要となる場合を想定して、前年度繰越金を予備費に計上する中で対応している。また、令和6年度からは企業会計となる予定で、基本的には独立採算となるため、一般会計からの繰入金も精査していく。



市道1405号線道路認定現地視察

発議第4号 笛吹市議会会議規則の一部を改正する規則 令和5年9月4日提出

令和5年8月18日の議会改革委員会において、議会機能の充実を図るために、代表質問及び一般質問、質疑の再質問の回数を増やすことが決定し、質問回数の変更について議会会議規則の改正を行うこととなりました。

8月28日の全員協議会にて、全議員に報告し、9月4日の第3回定例会本会議において、荻野謙一議員、中村正彦議員、武川則幸議員より発議さ

れ、賛成全員で議決されました。

また、この規則の一部改正は、今定例会から適用されました。

笛吹市議会規則第1号

笛吹市議会会議規則の一部を改正する規則
質疑の回数「3回」を「4回」に変更

発議第5号 インボイス制度の実施延期を求める意見書 令和5年9月28日提出

コロナ禍が暮らしと営業の危機的状況を深刻化させている。ウクライナ侵攻に起因するサプライチェーンの混乱や円安の影響で、燃油や資材などの価格高騰、納品遅れに加え、食品や生活必需品の大幅な値上がりが見られ、追い打ちをかけている。

こうした影響を受け、地域経済の中心を担う中小・小規模事業者は存続の危機に瀕しており、物価高騰対策などの支援が求められている。10月からのインボイス制度実施は、事務負担の増加を強いるとともに、免税事業者が取引から排除される恐れがある。

このままではインボイス導入を機に、個人事業主や農業従事者、フリーランス、文化事業者などを廃業の危機に追い込み、さらなる地域経済の衰退につながる懸念がある。

インボイス導入に関し、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、全国青年税理士連盟など多くの団体が、現状のまま実施に踏み切ることに懸念の声を上げている。

このことから、住民の暮らし、地域経済、地方行政にも深刻な打撃となるインボイス制度導入の延期を強く求め、下記事項について要望する。

山梨県 笛吹市議会議長 古屋 始芳
提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣

議員研修 令和5年8月4日(金)

山梨県市議会議長会議員合同研修(前期)

市民から議会を身近に感じてもらおう手法について、茨城県取手市総務部情報管理課長：岩崎弘昌氏の講演を聞きました。



行政視察受入

大分県豊後大野市(令和5年7月24日)

総務常任委員会の皆様が、ふるさと納税について、行政視察研修のため来庁されました。

笛吹市議会からは、古屋議長と荻野総務常任委員長が歓迎のあいさつを行い、総合政策部企画課より、研修項目の説明を受けました。



おくやみ

去る令和5年7月17日に前島敏彦議員が御逝去されました。

67歳でした。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

また、逝去を受け、次のとおり変更がありました。

・所属委員会変更（建設経済常任委員会から総務常任委員会）

古屋 始芳 議員

・議会運営委員会委員に選任

岡 由子 議員

議会にて議決

・東八代広域行政事務組合議会議員

河野 智子 議員

・釈迦堂遺跡博物館組合議会議員

保坂 利定 議員

人事

人権擁護委員の候補者の推薦「可決」

今泉 利恵（八代町北）

任期 令和6年4月1日から3年間

稲山恩賜県有財産保護財産区管理委員会委員の選任「同意」

橘田 哲也（八代町永井）

任期 前任者の残任期間（令和9年3月31日まで）

議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容（表題）を公開しております。

令和5年第4回（12月）定例会本会議の日程（予定）

12月 1日（金）	午後1時30分～	市長行政報告・議案説明
8日（金）	午前10時～	議案に対する質疑および一般質問・付託
11日（月）	午前10時～	議案に対する質疑および一般質問（予備日）
19日（火）	午後1時30分～	各委員会の審査報告・討論・採決

※日程などに変更がある場合もあります。

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV(10チャンネル)で、市議会の録画中継をご覧いただけます。

お知らせ

- ・市議会議事堂（八代庁舎）1階ロビーのモニターで、議会中継をご覧いただけます。
- ・市ホームページにて、過去の代表質問・一般質問の動画をご覧いただけます。

笛吹市議会だよりvol.75 訂正

笛吹市議会だよりVol.75の12ページ下段、農業委員会委員の任命にて、丸山幹夫委員の住所の誤りがありました。（春日居町鎮目）となっておりますが、（春日居町別田）に訂正し、お詫びいたします。



鉄筋工になった



境川町
沼田 三郎

私が鉄筋工になったのが昭和33年だった。近所の友達に誘われ、アパートの建築現場に行きました。3階建てくらいの建物だったと記憶しています。

近所の友達なので親切に教えてくれたので、いろんなことを早く覚えました。鉄筋を使う現場は主に公共工事が多かったです。今は高いピーヤ100以上、地下では20以上以上の深さも組み立てます。山梨では高い建物は25階建てですが、岡島跡地には26階建てが近々着工すると思います。

今、普通使っている材料の太さは直径10mm、51mmです。ちなみに51mmの1筋の重さは16kgです。重いです。

Aさんが倒れてる!!



御坂町
青林久美子

8月始めのある日、Aさん（80代、一人暮らし）が倒れていると電話があり、すぐに行ってみました。

尻が痛いとお動くことができず救急車を呼びました。幸い打撲で一週間入院してきましたが、尻の痛みは変わらず

布団から起き上がることができません。民生委員さんや近所の方々、友人らが訪れ、エアコンをつけたり、水分を摂ってもらったり、弁当等を置く、洗濯やゴミの処理、買い物等々してきました。

本当に困っている時に、介護保険サービスを入れてもらえず、私たちの関わりだけでいいのかと不安でしたが、1カ月経ち、ようやく元の生活を取り戻してきました。何よりも猛暑を乗り越えたことにホッとしています。

表紙説明

市内の各行政区で行われた防災訓練の様子

消火訓練や、救護者搬送、三角巾の使い方講座など、さまざまな取り組みが行われました。

編集後記

囲碁の対局では、対局者よりも周りで見ている観戦者のほうが良い手を発見することが多くあります。このことを「おかめはちもく」と言います。我々の生活の中でも使われる囲碁用語です。

囲碁の対局中に観戦者が口出しすると、マナーが悪いこととなりますが、私たちの生活では、いろいろな人の意見を参考とするほうが、正しい判断ができます。いわゆるセカンドオピニオンです。ある物事の当事者より第三者のほうが、事の成り行きや真相、また利害得失などを正しく判断できることから、「聞く力」の大切さをあらためて感じました。

議会広報編集委員会

委員 河野 正博



笛吹市議会だより Vol.76

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917番地
TEL.055-265-2112 (直通) FAX.055-265-1101
URL: <https://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>



笛吹市動画
配信サイトは
コチラ

発行者: 笛吹市議会議長 古屋 始芳

編集: 笛吹市議会広報編集委員会

委員長: 岡 由子 副委員長: 河野 智子

委員: 河野 正博 中川 秀哉 落合 俊美 野澤今朝幸